



水土里情報を活用した土地改良施設台帳整備について紹介します

(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット香川

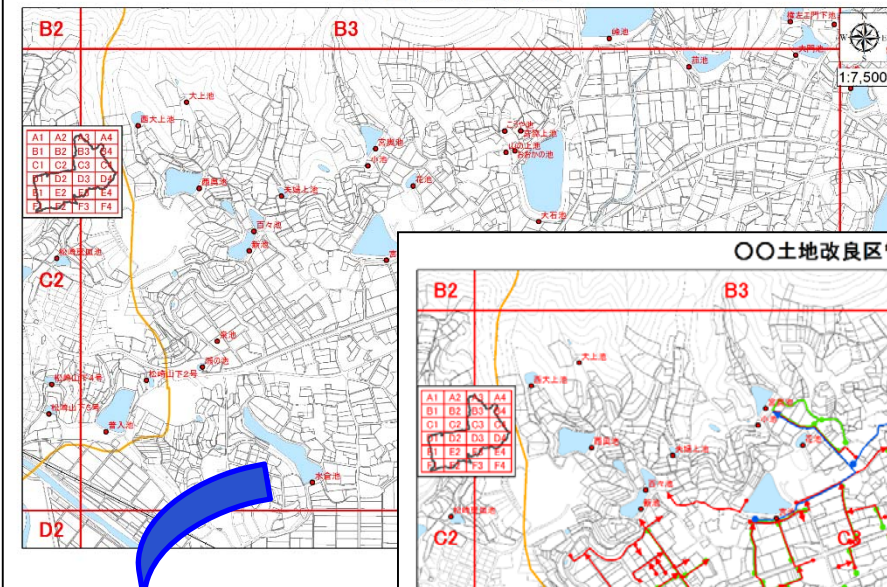
取組概要

内容：県内の全土地改良区に対してGIS整備に必要な施設の位置を確認するため、無償で管内地図を提供し、土地改良区に手書きで施設の位置を記載してもらい取組を実施。これを基に土地連が土地改良施設のGIS化を行い、水土里情報システムを活用した土地改良施設台帳の整備を推進する。

経緯：これまで、土地改良区が管理する施設は、固定資産として扱わず財産目録から除いていたため、土地改良区の全財産の価額が不明であった。平成34年度から決算関係書類として、収支決算書に加え、原則として貸借対照表を作成しなければならないことから、土地改良施設台帳の整備が急務となった。

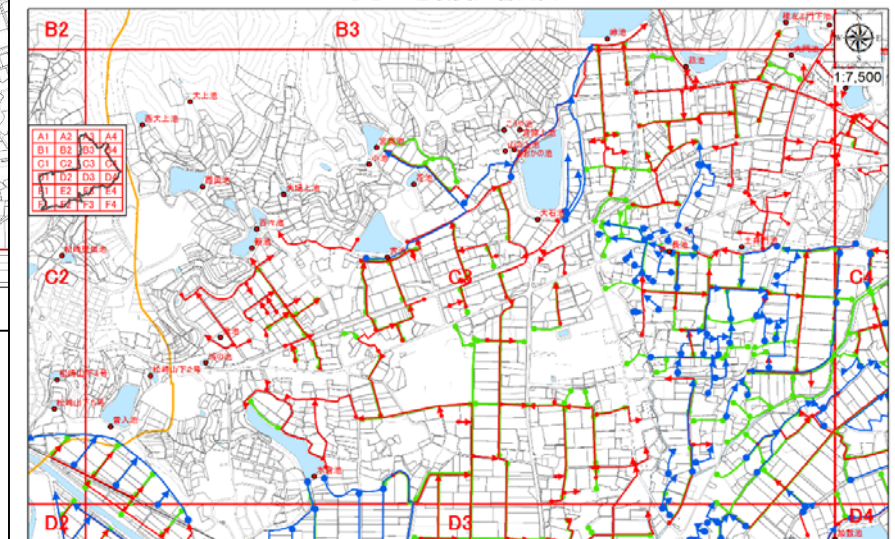
提供した図面

〇〇土地改良区管内図



入力後の図面

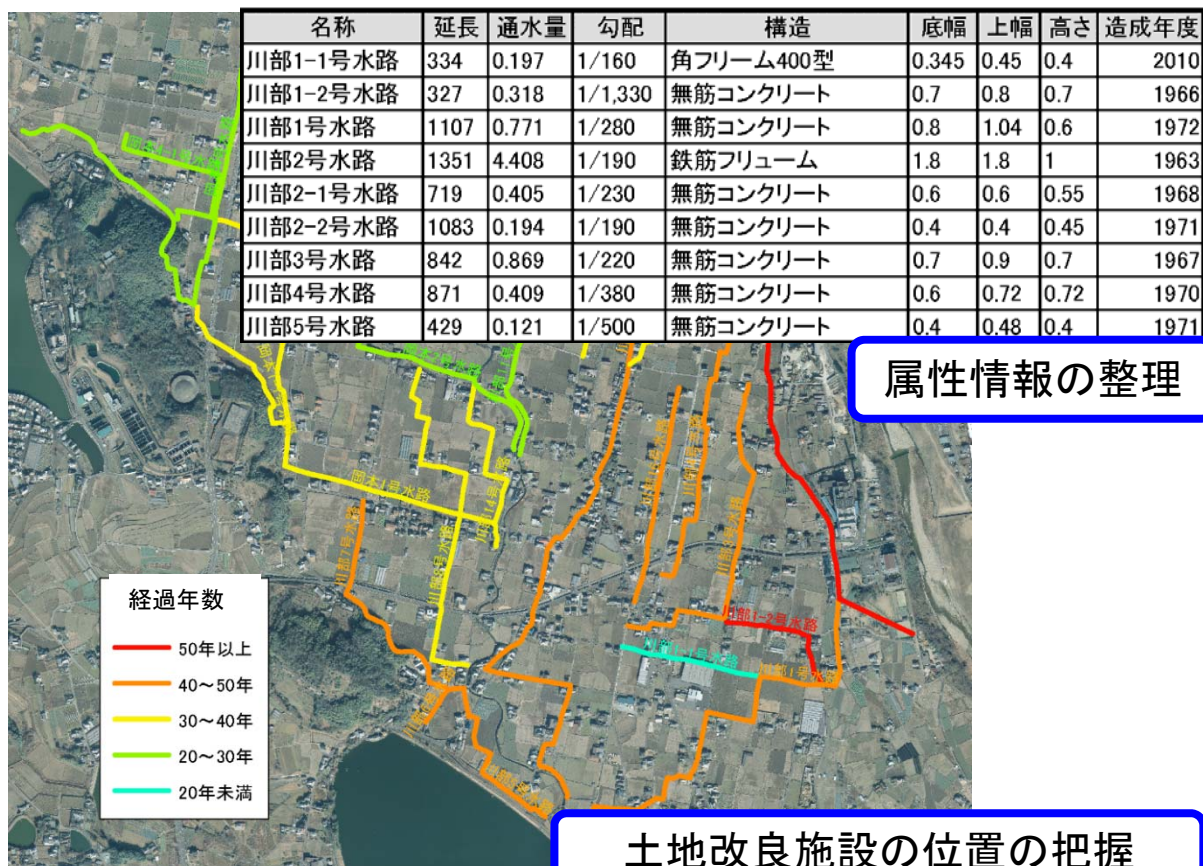
〇〇土地改良区管内図



改良区が手書きした図面を
県土連がGIS化

期待される効果

水土里情報システムで、施設の位置や造成年度・構造・取得価額等の属性情報を一元管理することで、土地改良施設の漏れや重複を防ぎ、賃借対照表の作成や資産評価・減価償却の計算を円滑に進める事が可能となる。また、施設の計画的管理にも繋げることが可能となる。



今後の活用予定

今後は土地改良区が水土里情報システムを活用し、既存の施設情報に更新履歴を追加、更に施設の更新予定やそれに伴う想定工事費等も追加していくことにより、組合員に対する説明責任を果たすなど、公法人としてより適切な運営が可能となるよう、支援を行う。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ: ArcGIS Desktop Ver.10.3.1

■お問い合わせ先

香川県土地改良事業団体連合会 事業課
農林水産省農村振興局設計課計画調整室 (愛宕・沖)

087-832-7140
03-6744-2201(直通)